

知立市長 林 郁 夫 様

インクルーシブな未来の公園づくりに向けた
政策提言書

令和4年7月20日

知立市議会

議 長 中 野 智 基
建設水道委員長 杉 浦 弘 一

インクルーシブな未来の公園づくりに向けた政策提言書

現在、知立市においては、駅周辺整備事業により、①駅前公園（2,300㎡）、②堀切公園（6,200㎡）の造成が計画されています。

こうした中、建設水道委員会においては、「インクルーシブな未来の公園づくりに向けて」をテーマに調査・研究をいたしました。インクルーシブ公園とは、障がいのある子どもの公園ではなく、障がいの有無に関わらず「誰もが一緒に遊べる公園」であります。本来、公園はみんなで遊ぶ・遊べる場所ですが、現状は身体・精神的に障がいがある子ども、外国にルーツを持ち日本語を母語としない子どもにとって、利用しにくい、思うように遊べないといった実態があります。「インクルーシブ公園」は、欧米では20年以上も前から導入されていますが、日本ではようやく2年くらい前から徐々に広まりつつあるのが現状であります。

そこで、「インクルーシブ公園」の先進地であります、「としまキッズパーク」（東京都豊島区）と「恵比寿南2公園」（東京都渋谷区）の視察結果、建設水道委員会検討結果、及び知立市緑の基本計画を踏まえ、下記のとおり政策提言をいたします。

1. 知立市緑の基本計画（令和2年4月策定）

(1) 本市の都市公園等が抱える課題

- ①防災機能の確保
- ②駅周辺の緑化ニーズの高まり
- ③市民ニーズ適合性を原因とした、公園・緑地の利用頻度の低下

(2) 本市の都市公園等が目指す将来像

- ①未来の都市づくりを見据えながら市民ニーズに対応していく
- ②市民や企業から積極的な協力が得られるような仕組みづくり
- ③都市公園等の整備量：市民一人当たり9.5㎡から10.7㎡へ拡大

(3) 本市が推進すべき具体的な施策

- ・緑や公園の将来像である「みんながつながり豊かに暮らせる緑のまち」の実現
- ①拠点となる公園整備
 - ・知立駅周辺の整備事業（知立駅前公園、堀切公園）と連携しながら、多様な交流による賑わいを創出するとともに、質の高い都市空間を形成する公園整備の推進
- ②災害時の安全な避難場所としての公園整備
- ③誰もが安全に利用できる魅力的な公園づくり
 - ・ユニバーサルデザインに適合した施設の設置

2. 視察結果（これからの公園づくりに向けた気づき）

- (1) インクルーシブな概念の必要性
- (2) 共生社会への取り組みの加速化
- (3) 心のバリアフリー促進の必要性

3. 政策提言

- (1) これからの公園づくりに向けて、知立市緑の基本計画の見直しを行うこと。
 - ①インクルーシブな概念の組み込み。
 - ②先進事例の調査・研究結果の組み込み。
 - ③専門的知見の助言、多角的な視点の組み込み。
- (2) 民間活力を効果的に活用した、公園の整備、管理運営方法の検討をすること。
(Park-PFI：公募設置管理制度等)
- (3) 大規模災害に備えた、防災機能を強化した公園の整備を検討すること。
- (4) 民間開発による公園整備に対する助言を行うこと。

以上

〈 政策提言書提出までの経緯 〉

年月日	内容
令和3年10月 8日	取組テーマの選定 (「インクルーシブな未来の公園づくりに向けて」)
令和4年 5月 9日	先進地視察 (としまキッズパーク：東京都豊島区)
令和4年 5月 10日	先進地視察 (恵比寿南二公園：東京都渋谷区)
令和4年 6月 16日	政策提言内容の調整
令和4年 7月 15日	政策提言書の最終確認
令和4年 7月 20日	政策提言書の市長への提出

〈 建設水道委員会委員構成 〉

委員長 杉浦 弘一
副委員長 那須 幸子
委員 川合 正彦
委員 中野 智基
委員 田中 健
委員 三宅 守人